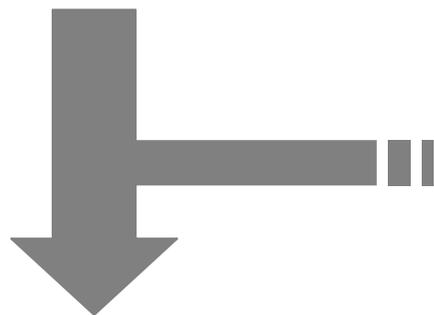


3-1 これからの治水対策

～ 命を守るための治水 ～

これまでの対策

一定規模の洪水を河道内で安全に流下させる(氾濫する頻度を減らす)



近年顕在化している課題

気象状況の変化(集中豪雨の頻発化)

河川整備の限界(長時間、計画以上の洪水発生)

社会状況の変化(地域の共助体制の脆弱化)

財政状況の逼迫

これからの対策

治水対策の目標

最優先

人々の命を守る

床上浸水のような壊滅的な被害を防ぐ

これまでの治水対策に加え、自助・共助・公助を組み合わせ、ハード対策とソフト対策を連携し、対策を進める。